

一般社団法人日本ファームステイ協会よりご案内 【JPCSA 通信 Vol.42】

2022年3月9日発行

- ◆世界最高レベルのホスピタリティを持つ「農泊品質評価員」が、農泊地域のご支援を開始します！
- ◆令和4年度農山漁村振興交付金事業が公開となりました
- ◆農泊人材育成研修「特別講座」開催のお知らせ

<JPCSA 最新情報>

～ JPCSA News ～

- ◆世界最高レベルのホスピタリティを持つ「農泊品質評価員」が、農泊地域のご支援を開始します！

本協会賛助会員である日本航空株式会社様の客室乗務員 20 名が、昨年 12 月熊本県人吉球磨地域での研修受講、その後の考査に合格し、第 1 期「農泊品質評価員」として委嘱され、2 月 24 日（木）日本航空本社で任命式がありました。

任命式は、上山康博代表理事より登録証が手渡されたほか、青木辰司農泊品質評価支援研究所長による研修の振り返りや次年度以降の「農泊品質評価支援制度」展開についての講話などが行われました。



登録証授与の様子



農泊品質評価員



青木所長講話の様子

今後本協会では、農泊品質評価支援制度の活用を希望される日本全国の農泊地域の皆様のもとへ、農泊品質評価員がお伺いし、農泊施設等の品質向上に向けた様々なご支援を行ってまいります。

「農泊品質評価支援制度」について、詳しい説明をご希望される場合は、農泊品質評価支援制度事業事務局へご相談ください。（お問い合わせ info@jpcsa.org 事業事務局）

< 農泊関連情報 >

～ Countryside Stay News ～

◆令和4年度農山漁村振興交付金事業が公開となりました

2月24日（木）に農林水産省のホームページにて、令和4年度 農山漁村振興交付金の公募が開始されました。公募期間はいずれの事業も**令和4年2月24日（木）から令和4年3月11日（金）まで**（郵送も同日17時必着）。

農林水産省 HP は[こちら](#)

詳細につきましては、以下よりご確認ください。

★農泊推進対策（広域ネットワーク推進事業「農泊需要喚起に向けた情報整備・発信事業」）の公募について

・概要

多様な観点から農泊の魅力を発掘・深耕し、国内及び海外の一般消費者に向けた効果的な情報として整備・発信・共有することにより、地域コンテンツ及び情報発信の高度化と事業者及び一般消費者における農泊の認知度を高める取組を支援する。

⇒詳しくは[こちら](#)

★農泊推進対策（農泊地域高度化促進事業）の公募について

・概要

「農泊」を農山漁村の所得向上を実現する上での重要な柱として位置付け、主要観光地に集中しているインバウンドを含めた旅行者を農山漁村に呼び込み、宿泊者や農林水産物の消費拡大を図るため、増大するインバウンド需要に対応するための受入環境の整備、地元食材や地域の景観を活用したコンテンツの高付加価値化及びワーケーション需要に対応する受入環境の高度化等に取り組む農泊地域の取組を支援する。

⇒詳しくは[こちら](#)

★地域活性化対策のうち農山漁村関わり創出事業（農村プロデューサー養成講座）の公募について

・概要

農山漁村振興交付金（地域活性化対策）により、地域への愛着と共感を持ち、地域住民の思いを汲み取りながら、地域の将来像やそこで暮らす人々の希望の実現に向けてサポートする人材（農村プロデューサー）を育成する取組を推進する。

⇒詳しくは[こちら](#)

★地域活性化対策（農山漁村関わり創出事業）の公募について

・概要

就職氷河期世代を含む多様な人材が農山漁村を知り、農山漁村の生活を体験することを通じて、農山漁村に関心を持つ多様な関係人口を創出し、ひいては将来的な農業・農村の新たな担い手の確保につなげていくためのきっかけをつくることを目的とし、地域外の人材の持続的な流入による農山漁村の活性化の取組を支援する。

⇒詳しくは[こちら](#)

◆ つなぐ棚田遺産オフィシャルサポーター制度について

農林水産省では、棚田地域の振興に関する取組を積極的に評価し、棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対するより一層の理解と協力をいただくことを目的に、改めて優良な棚田を認定する「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」を実施しています。また、企業・団体等多様な関係者ととともに幅広く周知するとともに棚田地域の振興に資する取組を促進するため、つなぐ棚田遺産オフィシャルサポーター制度を創設しています。

詳しくは[こちら](#)（農林水産省HP）

オフィシャルサポーター制度実施規約は[こちら](#)

○募集期間：令和3年11月15日（月曜日）～令和4年9月30日（金曜日）

<賛助会員からのお知らせ>

◆ 農泊人材育成研修「特別講座」開催のお知らせ

当会の幹事会社である（一社）全国農協観光協会では今年度、「令和3年度農山漁村振興交付金（農泊推進対策（広域ネットワーク推進事業））」の一環として様々な研修を行っております。今回、「農泊地域におけるDXを活用した新たなマーケティング」と称して特別講座を開講致しますので皆様ぜひご参加下さい。

ご案内チラシはこちら

【日 時】

令和4年3月17日（木） 13:30～16:30

【会 場】

AP東京八重洲（Gルーム） JR東京駅八重洲中央口より徒歩6分

【研修形態】

会場参加型＋オンライン型（同時開催）

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、会場開催が難しい場合は、オンライン開催のみで実施致します。

【講 師】

東武トップツアーズ株式会社 CDO 村井宗明氏

【プログラム（予定）】

13:30 開会・挨拶

13:40-15:30 講座：農泊推進の新たなカタチ～DXの活用～

15:40-16:30 トークセッション・質疑応答：

農泊地域でのDXの活用をよりわかり易く解説！（Q&A方式）

16:30 閉会

【お申込み】

・専用ページからお申込みお願い致します。

お申込みは[こちら](#)（Googleフォーム）

<QRコード>



【問い合わせ先】(一社)全国農協観光協会 担当:白木・安田・床次(とこなみ)

メールアドレス:nouhaku.keiejinzai.znk@gmail.com HPは[こちら](#)

【新型コロナウイルス対策に関する周知依頼】(R.4.2月通知分)

農林水産省より、新型コロナウイルス感染症対策に関するまん延防止等重点措置等について、基本的対処方針に基づく催物の開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項について、出勤者数の削減(テレワーク等の徹底)についてが示されました。

皆様におかれましては、以下の資料をご確認の上、ご周知いただきますようお願い申し上げます。

- ・新型コロナウイルス感染症対策に関するまん延防止等重点措置等について
- ・基本的対処方針に基づく催物の開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項について
- ・出勤者数の削減(テレワーク等の徹底)について

いかがでしたでしょうか?

最後までお読みいただきありがとうございました。

ご購入いただいた皆様の事業展開のきっかけとなるような情報発信を行ってまいりますので、今後もご愛読のほど宜しくお願い申し上げます。

会員様が実施されます農泊関連イベントや研修について、こちらのメールマガジン上で告知を承ります。掲載のご希望がございましたら、送信希望月の1カ月前までに下記E-mailへご連絡をお願い致します。受信後、当会担当者よりご連絡をさせていただきます。

=====

発行：一般社団法人日本ファームステイ協会事務局

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-17-2

(TEL : 03-3526-2493 / FAX : 03-3526-2494)

ホームページ URL はこちら : <https://jpcsa.org/>

問い合わせ先 E-mail : info@jpcsa.org
